

◆企画展

「土に残る記憶Ⅱ-縄文と弥生-」展

(1) 趣 旨

縄文時代（今から1万3000年前頃）に入るとそれまでの旧石器時代とは大きく変わりました。気候が暖かくなってきてことで、環境が変わり、人々の生活も変化したのです。

彼らは「土器」や「弓矢」を発明し、暮らしよい家のづくりや生活の方法を模索していきます。展覧会では、岐阜県内の遺跡に彼らが残してくれた多くのものに注目しました。

また、岐阜県で発見された貴重な弥生時代の出土品などもあわせて展示しました。そして、学校の学習活動とも連携しつつ、出土品などを手でさわったり、遊ぶことのできるコーナーや様々な体験講座などを行うことができました。

(2) 会 期 2004（平成16）年4月29日（木）～5月30日（日）＜27日間＞

(3) 観 覧 料 一般200円（100円）、中学生以下無料

（ ）は20名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

(4) 会 場 企画展示室

(5) 関連事業

①ミュージアムトーク

（2004（平成16）年5月1日（土）・5月16日（日）11：00～12：00・14：00～15：00/会場：企画展示室/参加料 企画展観覧料）

②体験講座

「つくってみよう・つかってみよう－縄文人体験－」

（2004（平成16）年5月2日（日）13：00～16：00/会場：実習棟テラスほか/参加料 無料）

③ミュージアムツアー

「いってみよう－石器の材料をさがす－」

（2004（平成16）年5月8日（土）12：30～16：00/会場：白川町ほか/参加料 無料）

④アートな1日講座

「縄文の土器作り」

（2004（平成16）年5月23日（日）13：00～16：00/会場：工芸室/参加料 無料）

